

地域のスポーツ医・科学支援調査事業

令和8年度予算額
(新

25,000千円
規)



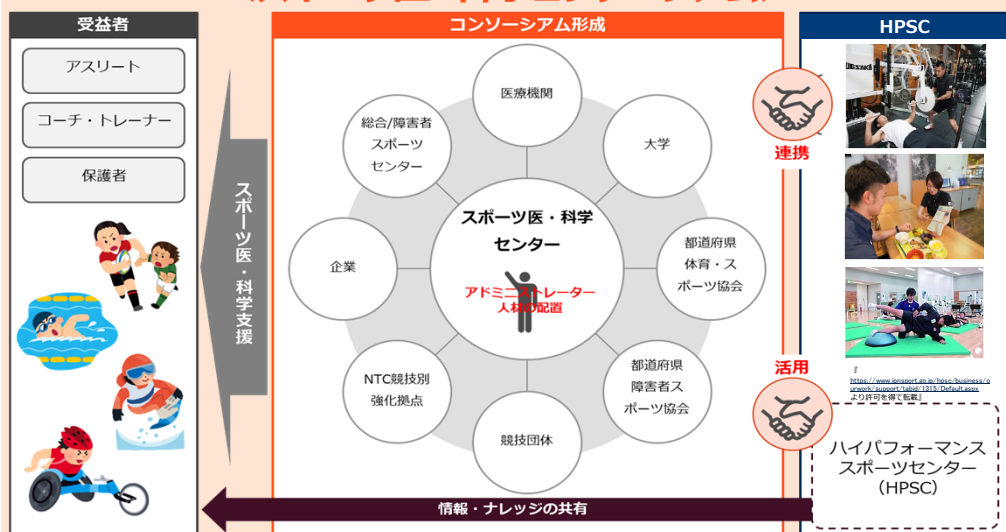
背景・課題及び事業目的

令和7年度まで実施された「地域におけるスポーツ医・科学支援体制構築事業」においては、地域のスポーツ医・科学センターや大学、地方公共団体、民間企業等によるスポーツ医・科学支援コンソーシアム形成のモデル地域構築を目指し、モデル地域が構築された。今後は、HPSCとモデル地域が情報・リソースの連携・共有を図りつつ、モデル地域の自律的な資金確保や地域の実情に沿った医・科学サポートを実施するための持続的運営体制の確立、医・科学支援を必要とする他の地域においても、モデル地域が主体性を発揮しつつ医・科学支援の在り方の普及啓発・検討が必要となる。

事業内容

コンソーシアムが地域のスポーツ医・科学支援にもたらす影響・効果の整理・検証および持続可能な運営に係る整理・検証を行い、本事業では、モデル地域の持続的運営体制の確立に向けたアドバイザー派遣等の伴走支援等を行う。

<スポーツ医・科学コンソーシアム>



調査・研究内容

【コンソーシアムの運営体制に係る伴走支援】

- ・コンソーシアム運営に係る人材確保と人材育成ロードマップ作成
- ・コンソーシアム運営に係る費用確保
- ・コンソーシアム運営における収益化構造等を調査し、**コンソーシアムの“持続的な運営体制構築”について検証・検討する**

【スポーツ医・科学支援体制の“機能分担”の検証】

- ・地域における医・科学人材の役割分担
- ・地域のスポーツ協会・大学・自治体等、スポーツ医・科学支援コンソーシアム構成機関の役割分担等を調査し、**コンソーシアムの展開に際し、「どのような機関がどのような役割を担い、コンソーシアムを機能させるか」を明確化する**

【トップアスリート強化に係る医・科学支援の効果検証】

- ・スポーツ医・科学支援サイクル（計測 → 介入 → 評価）のモデル構築
- ・地域における傷害予防・競技力向上に係る効果等を調査し、**トップアスリートを継続的に輩出する“地域システム”の効果を検証する**

STEP 1 (R4～R7)

【コンソーシアムの構築】

- ・地域のスポーツ医・科学センターや大学、地方公共団体、民間企業等による**コンソーシアムを形成**
- ・**地域におけるスポーツ医・科学支援の実施**
- ・**コンソーシアムの形成に係るマニュアルの作成**

アウトプット（活動目標）

- ・コンソーシアムが地域のスポーツ医・科学支援にもたらす影響・効果の整理・検証
- ・コンソーシアムの持続可能な運営に係る整理・検証

STEP 2 (R8～)

【コンソーシアムによるスポーツ医・科学支援等の効果検証】

- ・**コンソーシアムの運営体制に係る伴走支援**
- ・**スポーツ医・科学支援体制の“機能分担”の検証**
- ・**トップアスリート強化に係る医・科学支援の効果検証**

短期アウトカム（成果目標）

- ・コンソーシアムの運営体制に係る伴走支援
- ・スポーツ医・科学支援体制の“機能分担”の検証
- ・トップアスリート強化に係る医・科学支援の効果検証の調査
R8年度：100%実施

STEP 3

【普及・展開】

- ・STEP2も踏まえ地域におけるスポーツ医・科学支援のあり方の検討を行い、**スポーツ医・科学支援対象の拡大や支援内容の質の向上等を行う取組を推進**（持続可能な国際競技力向上プラン（令和7年3月改定）に基づく取組を推進）

中期アウトカム（成果目標）

- ・コンソーシアムの“持続可能な運営体制構築”各々が定めるコンソーシアムの収益増加の達成率
R9年度：100%
- ・医・科学支援（トレーニング、リハビリ等）の各々が定める提供数増加の達成率
R9年度：100%

長期アウトカム（成果目標）

- ・モデル事業により普及した医・科学支援体制構築の地域数
R10年度：15地域

担当：スポーツ庁 競技スポーツ課